

甲斐市議会 (仮称) 篠原地区公園整備事業特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和8年1月19日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

出席委員 (8名)

|     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 藤原正夫君 | 副委員長 | 滝川美幸君 |
|     | 山本英君  |      | 山坂賢太君 |
|     | 谷口和男君 |      | 清水和弘君 |
|     | 金丸幸司君 |      | 内藤久歳君 |

欠席委員 (1名)

若尾彰子君

傍聴議員 (2名)

|    |       |  |        |
|----|-------|--|--------|
| 議長 | 秋山照雄君 |  | 依田那津希君 |
|----|-------|--|--------|

---

説明のため出席した者の職氏名

|               |        |                |       |
|---------------|--------|----------------|-------|
| まちづくり<br>振興部長 | 小宮山 尚君 | こども子育て<br>健康部長 | 堤 貞治君 |
| 建設課長          | 保坂俊和君  | 都市計画課長         | 久保欽一君 |
| 子育て支援<br>課長   | 中村大輔君  | 建設整備係長         | 秋山裕介君 |
| 公園緑地係長        | 清水 隆君  | 児童係長           | 丸茂貴幸君 |

---

職務のために出席した者の職氏名

|        |      |    |      |
|--------|------|----|------|
| 議会事務局長 | 中澤一昭 | 書記 | 小林久美 |
| 書記     | 深澤隼人 |    |      |

内容

- 1 しのはら公園子ども体験学習施設の愛称決定について
- 2 その他

開会 午後 2時33分

○書記（深澤隼人君） ご参集、大変お疲れさまです。

ただいまから（仮称）篠原地区公園整備事業特別委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに副委員長より挨拶をいただきまして、副委員長の進行により進めてまいります。

それでは、次第の2、副委員長挨拶、滝川副委員長、よろしくお願いいたします。

○副委員長（滝川美幸君） 皆様、こんにちは。

まちづくり環境常任委員会のあと、この委員会ということで、皆様には大変お疲れのことと思いますが、待ちに待った公園の名前も決まるということでございますので、よろしくお願いいたします。

---

○副委員長（滝川美幸君） ただいまの出席委員は8名です。定足数に達しておりますので、これより（仮称）篠原地区公園整備事業特別委員会を開会いたします。

なお、若尾委員は欠席の旨の連絡がありましたので報告します。

また、谷口委員は遅刻の旨の連絡がありましたので報告いたします。

なお、本日は傍聴を許可しますので、ご承知おきください。

これより次第の3、内容に入ります。

（1）しのはら公園子ども体験学習施設の愛称決定について、担当より説明をお願いいたします。

中村子育て支援課長。

○子育て支援課長（中村大輔君） よろしく申し上げます。

子育て支援課から、しのはら公園子ども体験学習施設の愛称決定についてご説明をさせていただきます。

資料の1ページをご覧ください。

（1）の経過につきましては、令和9年3月のオープンに向けて建設中の「しのはら公園子ども体験学習施設」につきまして、市民から広く親しみをもってもらえるよう、昨年10月1日から31日までの1か月間、愛称募集を行ったところ、市内外から3,456件の応募があ

ったところであります。

次に、（２）愛称の決定についてであります。応募作品の中から最終候補名を５つ選定いたしまして、市のウェブサイトや広報紙・SNS等で周知を図り、令和７年１２月１日から令和８年１月９日までウェブ投票を実施いたしました。その結果、有効投票数１,４０３票の中から最多得票を獲得した「かいのび」をしたのはら公園子ども体験学習施設の愛称として、正式決定したいと考えているところであります。

下の表につきましては、最終投票の結果となっております。

「かいのび」の説明といたしましては、「甲斐（かい）」という地域名と「のびのび育つ」という願いを掛け合わせた愛称であり、したのはら公園子ども体験学習施設が甲斐市の新たなランドマークとして、大人も子供も伸び伸びと遊び、心身ともに成長できる場所になるよう願いを込めているところであります。また、合わせて自然の中で学び、遊び、つながる体験を通して、未来を担う子供たちが伸び伸びと夢を広げていく姿をイメージしているところでもあります。

得票数につきましては４３０票、得票率は全体の３０．６％となっております。

次に、（３）の今後のスケジュールにつきましては、２月になりましたらウェブサイト、SNS、また広報３月号において発表をしまいたいと考えております。

なお、今回愛称をご応募いただいた方につきましては、市内在住の５歳の男の子でありまして、愛称が採用された記念といたしまして、今後、公園内に愛称と氏名を記載しました名盤プレートを掲示してまいりたいと考えております。今後様々な場面におきましてこの愛称を活用し、したのはら公園子ども体験学習施設の周知に努めてまいりたいと考えております。

以上、したのはら地区公園子ども体験学習施設の愛称募集についての説明となります。よろしく願いいたします。

○副委員長（滝川美幸君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで委員並びに職員各位に申し上げます。

質問は一问一答とし、また質問、答弁は簡潔明瞭にさせていただけますようお願い申し上げます。

それでは、説明に対する委員の質疑を行います。

質疑等がありましたら、お願いいたします。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 分かりました。「かいのび」ということで。

この文字のデザインとか、フォントというんですか、形というかデザインというか、それはどういうふうを考えているんですか。

○副委員長（滝川美幸君） 中村子育て支援課長。

○子育て支援課長（中村大輔君） 今後、設計業者のほうと「かいのび」の文字のデザイン、色ですとか、フォントですとか、そういったものについては相談をしながら、よりふさわしいものということで決めていきたいと考えているところです。

○副委員長（滝川美幸君） よろしいですか。

ほかに質問がありますか。

〔発言する者なし〕

○副委員長（滝川美幸君） なければ、委員の質疑を終わります。

以上で、しのはら公園子ども体験学習施設の愛称決定についてを終わります。

引き続き、次第の4、その他を行います。

委員より、特別委員会関係で、その他、何かありましたらお願いいたします。

山坂委員。

○委員（山坂賢太君） しのはら公園のほうも建物もだんだんできてきて、市民の方からいろいろ関心がありまして、いろいろ私も声を聞く機会が増えてきました。非常に喜ばしくて、みんな関心を持っていただいて、本当にうれしいことなんですけれども。

ここにもありますように新たなランドマークとして公園を活用していくということで、公園内に犬が入れるかどうかという、様々な、今ドラゴンパークとか犬の規定がありますけれども、市民の中で、犬などの散歩として利用できるのかという声を非常に多くいただいておりますし、市のほうでも、せっかくキャラクターが「やはたいぬ」くんということもありますし、市外のほうでも、いろいろペットが可能というカフェ、ラーメンショップとか、いろんなことが増えておりますので、にぎわいの創出とか、他市から訪れてもらうきっかけとして、私自身も犬を飼っていたりとかして、散歩コースになると、またそういった面で甲斐市とランドマークとしての見方も変わってくる。

子供中心の施設になりますけれども、公園のほうはもちろん市民全体ということで、その観点も、これからどういった市のほうでお考えがあるのかというのを伺いたいんですけども、お願いいたします。

○副委員長（滝川美幸君） 質問が終わりました。

清水公園緑地係長。

○公園緑地係長（清水 隆君） お答えします。

公園内に犬を入れる関係につきましては、現在、甲斐市のほかの公園でも禁止しているところもあるんですけれども、しのはら公園につきましても、いろんな意見があることは承知していますので、ほかの公園も含めまして、犬の散歩とかそういったことも含めて、また今後、運営事業者とかも含めて検討していければと考えております。

以上です。

○副委員長（滝川美幸君） 山坂委員。

○委員（山坂賢太君） ありがとうございます。

県外の方でも、今ペット需要非常に大きくて、昔のように外で犬を飼うということが少なくて、大体、犬となれば家族同様に本当に自室内で飼っていて、行動も一緒に共にするという、そういった今文化がどんどんできておりますので、ペットというと災害等とかに問題にも当たっていますけれども、プラスの面でその人が集まる機会においては、どうしても非常にいいポイントだなと私も思っていますし、そういった声がありますので、ぜひとも要望として前向きに考えていただきたいと思います。

以上です。

○副委員長（滝川美幸君） 要望ということでよろしく願いいたします。

久保課長。

○都市計画課長（久保欽一君） 山坂委員のそういう声は我々も承知しております。一方で、動物が苦手という方もいらっしゃいますし、どうしてもふんは持ち帰っていただけるんですが、尿というのはそこに排出をしてしまうということで、芝生の中はどうしてもやめていただきたいということで、どこの公園もやっているんですけれども。どうするかというところは、本当に悩ましいところで、本当に開園までには、双方いいような形が取ればなと考えておりますので、よろしく願いします。

○副委員長（滝川美幸君） よろしいですか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今、公園の進捗状況はどんな具合か、お聞かせ願いたい。

○副委員長（滝川美幸君） 保坂建設課長。

○建設課長（保坂俊和君） お答えいたします。

公園全体の進捗率につきましては今70%、約です。建築のほうの建物のほうについては

31%ぐらいの進捗状態です。

○副委員長（滝川美幸君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） その進捗状況について、まず計画どおりに進んでいるのか、遅れているのか、早まっているのか、その辺のところはどうなの。

○副委員長（滝川美幸君） 保坂課長。

○建設課長（保坂俊和君） 計画どおりに進んでおります。

○委員（内藤久歳君） 進んでいるね。了解です。

○副委員長（滝川美幸君） よろしいですか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） もう一点、一応今の進捗状況なんだけれども、建設現場の事故とか、そういった報告は受けていますか。

○副委員長（滝川美幸君） 保坂課長。

○建設課長（保坂俊和君） 事故の報告は受けておりません。

○委員（内藤久歳君） 了解です。

○副委員長（滝川美幸君） ほかに質問ありますか。

よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○副委員長（滝川美幸君） なければ、その他を終了いたします。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、（仮称）篠原地区公園整備事業特別委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会 午後 2時44分